

表面科学技術研究会 2013

光の常識を覆すものづくり

—ナノ/表面と光の相互作用—

主催：日本表面科学会関西支部、表面技術協会関西支部、神戸大学研究基盤センター

協賛：(申請中を含む) エレクトロニクス実装学会、レーザー学会、応用物理学会、応用物理学会関西支部、化学工学会、光化学協会、光産業技術振興協会、光触媒工業会、触媒学会、精密工学会、電気化学会、電気化学会関西支部、電気学会、電気鍍金研究会、電子情報通信学会、日本オプトメカトロニクス協会、日本セラミックス協会、日本トライボロジー学会、日本化学会、日本機械学会、日本金属学会、日本結晶成長学会、日本顕微鏡学会、日本光学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本真空学会、日本物理学会、日本分光学会

日時：2013年1月22日(火) 13:00~17:10

場所：神戸大学 瀧川記念学術交流会館(神戸市)

参加費：無料

21世紀はフォトニクス時代と言われています。従来の光技術ではデバイスの性能向上、省エネルギー、希少資源の使用量削減などの課題解決が困難になってきている一方、ナノテクノロジーの進展によってナノ領域での物質と光の相互作用が理解され、それを制御し活用できるようになってきたためです。本研究会では、「ものづくり」の変革を担うプラズモニクスや近接場光を取り上げます。プラズモニクスのサイエンスと産業応用、ナノ粒子による電場増強を利用した高効率な太陽電池、制御されたナノ構造の液相合成技術、ナノ構造に局在する近接場光を用いた新しい表面平坦化技術、光を自在に操れる自然界の常識を超えた人工材料など、各分野でご活躍されている方々にご講演いただきます。

講演プログラム：

開会の挨拶

安江 常夫(日本表面科学会関西支部支部長)

1. 《基調講演》 プラズモニクスが切り拓く世界
河田 聡(大阪大学)
2. 《太陽電池応用》 プラズモニック・ナノ粒子を用いる光電変換の高効率化
秋山 毅(滋賀県立大学)
3. 《ナノ構造制御》 金属/半導体複合粒子の液相合成と光化学特性制御
鳥本 司(名古屋大学)
4. 《加工応用》 近接場光を用いた非接触研磨技術
平田 和也(シグマ光機株式会社)
5. 《光の自在操作》 プラズモニック・メタマテリアルの作り方
田中 拓男(理化学研究所)

閉会の挨拶

林 秀考(表面技術協会関西支部支部長)

定員：100名

申込締切：2013年1月15日(火)

申込方法：日本表面科学会または表面技術協会ホームページよりリンクされた本研究会案内ページ
<http://www.sssj.org/Kansai/goudou130122.html>でのONLINE申込を推奨します。

問合せ先：日本表面科学会関西支部 幹事 辻村 歩

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3-4 パナソニック株式会社 先端技術研究所

Tel: 0774-98-2580 E-mail: tsujimura.ayumu@jp.panasonic.com

会場案内：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 Tel: 078-803-5294

アクセスマップ <http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai2.html>

阪急電車六甲駅、JR六甲道駅、又は阪神電車御影駅から市バス36系統「鶴甲団地」行きに乗り

「神大文理農学部前」下車。新幹線「新神戸」駅からタクシーで約15分。